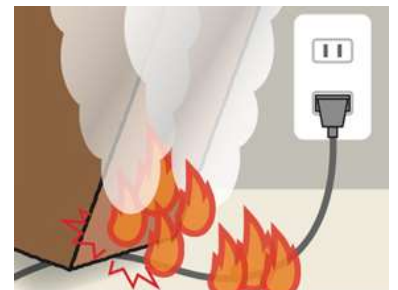


通電火災とは… 地震などの災害による停電が起きた後，電気が復旧した時に発生する火災のことをいいます。

阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した建物火災の多くは通電火災であったといわれています

●通電火災の主な原因

- ・ 損傷した配線などに再通電し，発熱発火する。
- ・ 転倒したヒーターに可燃物（カーテン，じゅうたん等）が接触した状態で再通電し着火する。
- ・ 再通電時に発生した電氣的火花が，漏れ出たガスに引火，爆発する。
- ・ 浸水や雨漏りによる，電化製品の基板等が損傷し再通電時にショートし発火する。
- ・ コンセントに水分が付着し，再通電時に火花が生じ発火する。



阪神淡路大震

災が1995年1月17日に発生して今年で27年が経過します。この日を契機に1月17日は自主的防災活動とボランティアの認識を深めるため『防災とボランティアの日』として制定されています。

●時間差/冬場が怖い通電火災

- ・避難して無人となったあとに電気が復旧し、出火することが多い。
- ・冬場は熱源となる家電を使う時季のためリスクが高い。



●通電火災対策

- ・災害時は避難前にブレーカーを遮断する。
- ・電化製品などのコンセントを抜いて避難する。
- ・ブレーカーを復旧する前に電化製品などのコードが断線していないか確認する。
- ・感震ブレーカーなどを使用する。



●災害に備えて



災害時には自分自身の身の安全を確保することが優先です。そのため日ごろから使用しない電気コードは抜き、家具や電化製品が転倒しないように防火防災対策をしましょう！